

蓮根地区 防災マップ

板橋区町会連合会 蓮根支部
板橋区 危機管理室

・このマップは「平成26年度板橋区地域別防災対策マニュアル策定ワークショップ」により作成されたものです。
・大規模災害に備えて、このマップをもとに、一人ひとりや各住民防災組織等で「災害時の危険」を具体的に想定し、「防災上の資源」を使ってどのように対応するか確認しましょう。



集合住宅内空地

給水拠点

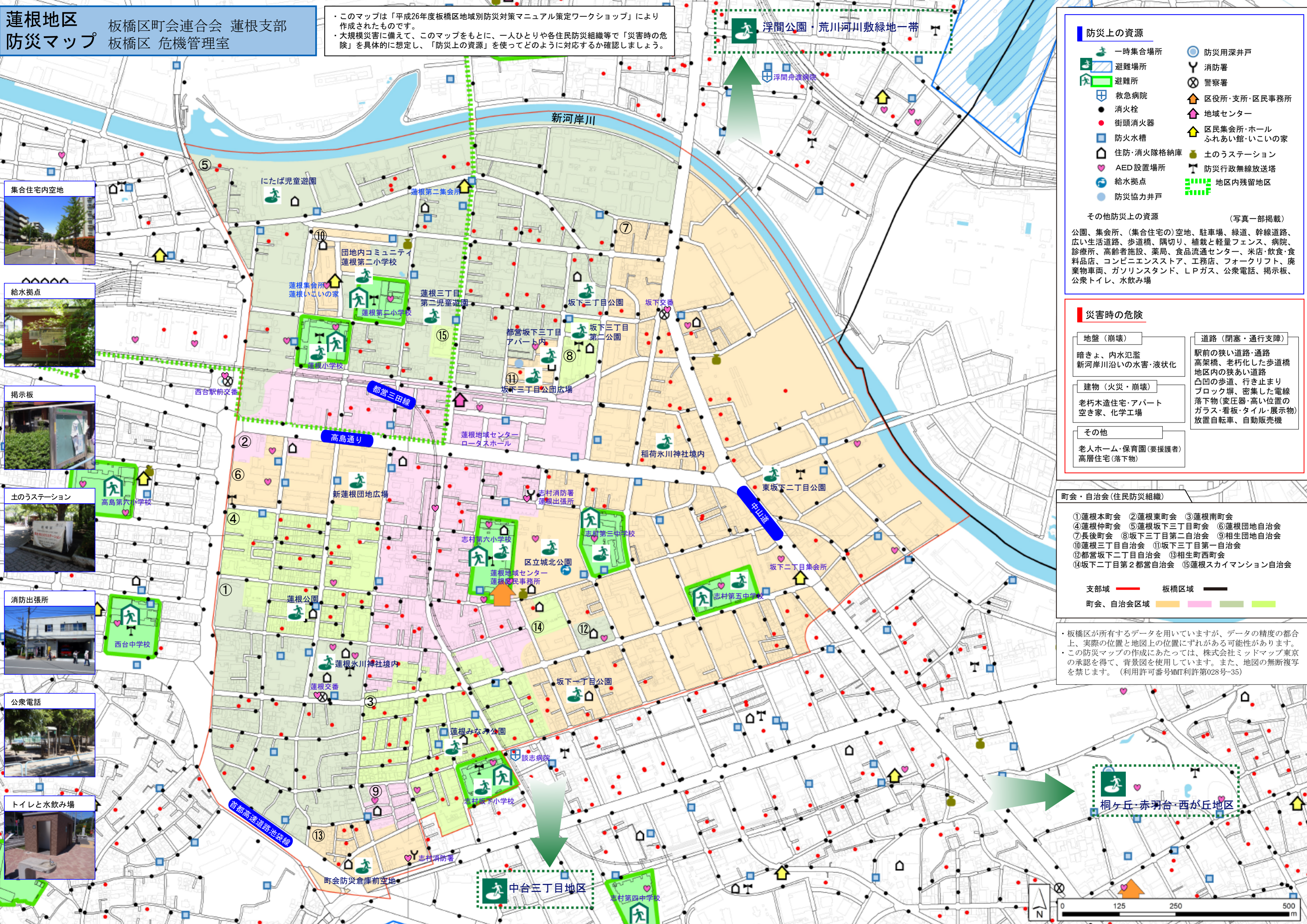
掲示板

土のうステーション

消防出張所

公衆電話

トイレと水飲み場



防災上の資源

	一時集合場所		防災用深井戸
	避難場所		消防署
	避難所		警察署
	救急病院		区役所・支所・区民事務所
	消火栓		地域センター
	街頭消火器		区民集会所・ホール ふれあい館・いこいの家
	防火水槽		土のうステーション
	住防・消防隊格納庫		防災行政無線放送塔
	AED設置場所		地区内残留地区
	給水拠点		
	防災協力井戸		

その他防災上の資源 (写真一部掲載)

公園、集会所、(集合住宅の)空地、駐車場、緑道、幹線道路、広い生活道路、歩道橋、隅切り、植栽と軽量フェンス、病院、診療所、高齢者施設、薬局、食品流通センター、米店・飲食・食料品店、コンビニエンスストア、工務店、フォークリフト、廃棄物車両、ガソリンスタンド、LPGガス、公衆電話、掲示板、公衆トイレ、水飲み場

災害時の危険

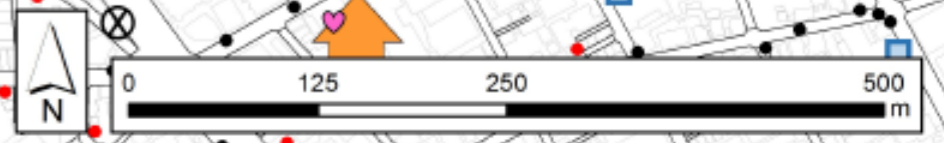
地盤(崩壊) 暗きよ、内水氾濫 新河岸川沿いの水害・液状化	道路(閉塞・通行支障) 駅前の狭い道路・通路 高架橋、老朽化した歩道橋 地区内の狭い道路 凸凹の歩道、行き止まり ブロック塀、密集した電線 落下物(変圧器・高い位置の ガラス・看板・タイル・展示物) 放置自転車、自動販売機
建物(火災・崩壊) 老朽木造住宅・アパート 空き家、化学工場	その他 老人ホーム・保育園(要保護者) 高層住宅(落下物)

町会・自治会(住民防災組織)

①蓮根本町会 ②蓮根東町会 ③蓮根南町会
④蓮根仲町会 ⑤蓮根坂下三丁目町会 ⑥蓮根団地自治会
⑦長後町会 ⑧坂下三丁目第二自治会 ⑨相生団地自治会
⑩蓮根三丁目自治会 ⑪坂下三丁目第一自治会
⑫都宮坂下二丁目自治会 ⑬相生町西町会
⑭坂下二丁目第2都宮自治会 ⑮蓮根スカイマンション自治会

支部域 板橋区域
町会、自治会区域

・板橋区が所有するデータを用いていますが、データの精度の都合上、実際の位置と地図上の位置にずれがある可能性があります。
・この防災マップの作成にあたっては、株式会社ミッドマップ東京の承認を得て、背景図を使用しています。また、地図の無断複写を禁じます。(利用許可番号MMT利許第028号-35)

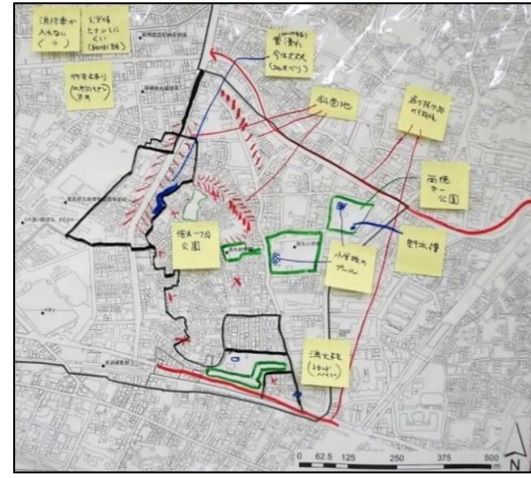


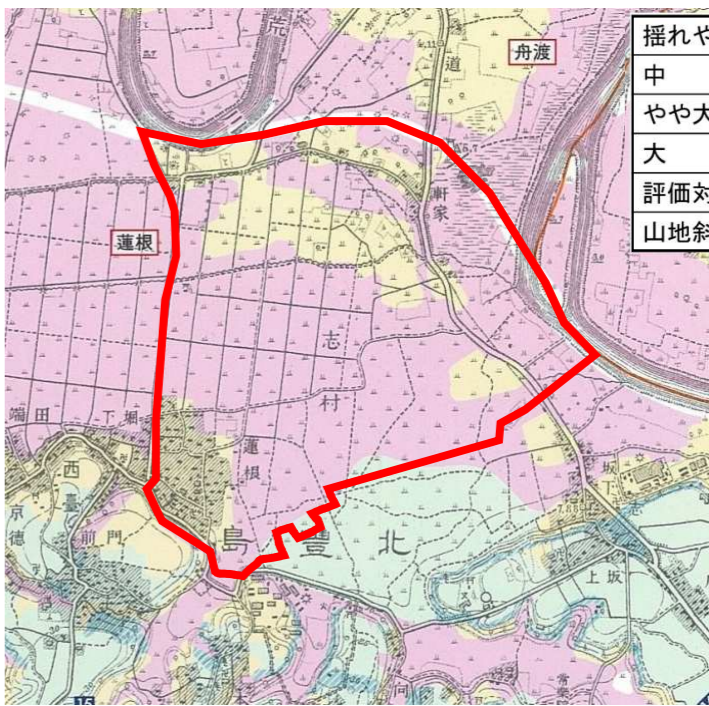


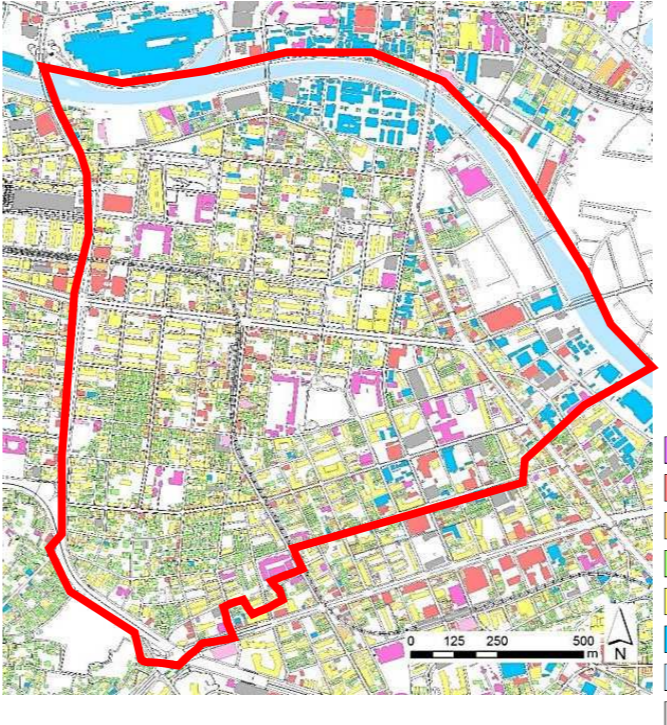
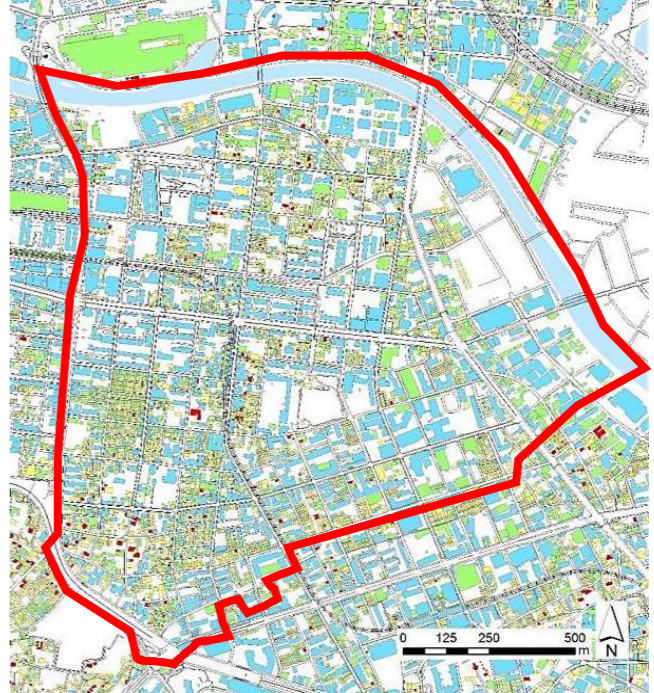
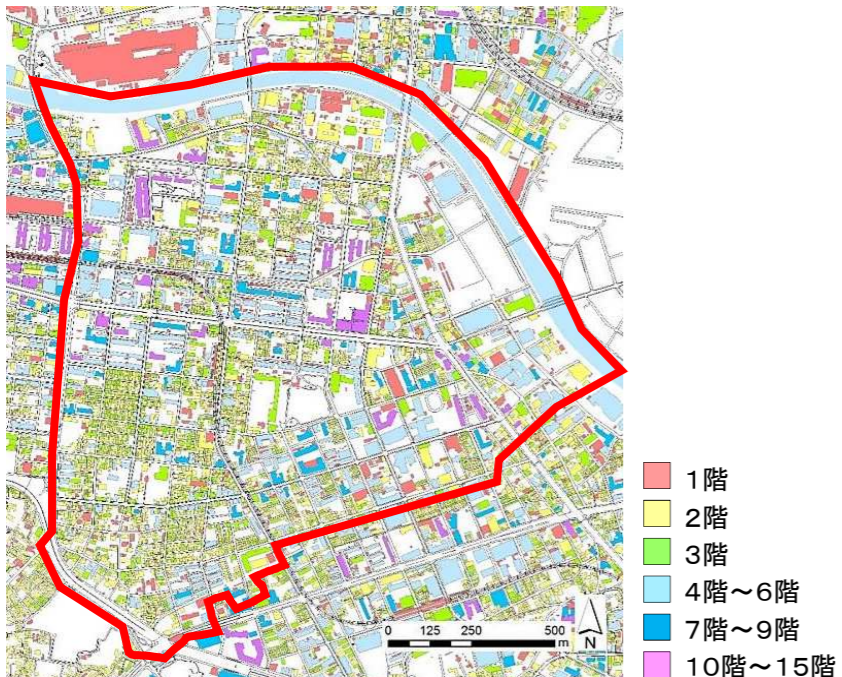
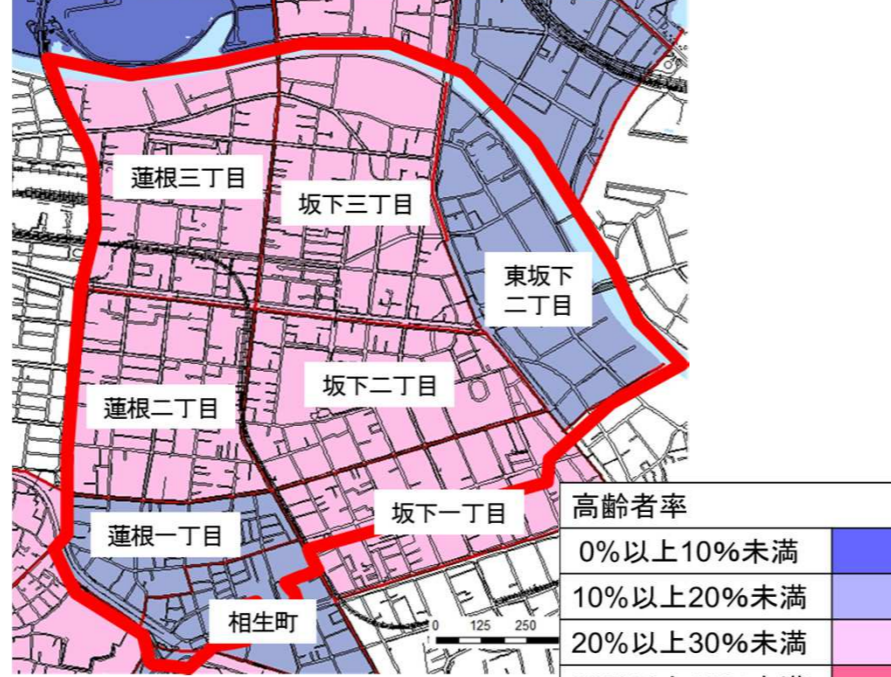




桐ヶ丘・赤羽台・西が丘地区

中台三丁目地区

蓮根地区の地域特性

(出典一覧: ①ミッドマップ東京1/2500地形図 ②③首都大地震ゆれやすさマップ2013年旬報社 ④板橋区都市計画マスタープラン ⑤H25.4板橋区用途地域図 ⑥~⑧H23東京都土地利用現況調査 ⑨~⑪H22板橋区国勢調査)

<p>はじめに</p> <p>蓮根地区の地域特性について、地盤、建物、人口属性の分布を地図にあらわしました。これらをもとに、地図上で大規模災害時の被害を想定して応急対応を検討しましょう。</p> <p>(地域の被害想定図の作成例)</p> 	<p>①地形</p>  <ul style="list-style-type: none"> 蓮根地区は荒川の南にあり、地区内には新河岸川が流れる。標高5m~15mで、背後には武蔵野台地が広がる。 	<p>②土地条件図</p>  <ul style="list-style-type: none"> 北側が新河岸川、南側が武蔵野台地に囲まれ、大部分が荒川低地である。 自然堤防が散在する。 	<p>③旧版地図・地盤の揺れやすさ評価</p>  <ul style="list-style-type: none"> 盛土地・埋立地(旧水田部分)の揺れやすさが「大」であり、自然堤防は揺れやすさ「やや大」である。
<p>④土地利用-都市基盤</p>  <ul style="list-style-type: none"> 幹線道路、鉄道の利便性は良い(高島通り、中山道、首都高速5号線、JR埼京線、都営三田線)。 	<p>⑤土地利用-用途地域</p>  <ul style="list-style-type: none"> 西側は住居系。 中山道、荒川沿線は工業系。 工業系用途地域での住宅利用が進む。 	<p>⑥建物属性-建物用途</p>  <ul style="list-style-type: none"> 建築面積割合では、集合住宅が最も多く(37%)、次いで独立住宅(19%)、専用工場(10%)である。 河川沿いは工場、南西側は住宅が多い。 	<p>⑦建物属性-建物構造</p>  <ul style="list-style-type: none"> 防火木造、木造は約45%を占める。
<p>⑧建物属性-建物階数</p>  <ul style="list-style-type: none"> 3階以下の建物が9割以上を占める。 広幅員道路沿いに高層建物が分布する。 	<p>⑨人口属性-65歳以上の高齢者率(町丁目別)</p>  <ul style="list-style-type: none"> 町丁目ごとの高齢者率(65歳以上)は、ほぼ区の平均値(21%)である。 	<p>⑩人口属性-65歳以上の高齢者がいる世帯割合(町丁目別)</p>  <ul style="list-style-type: none"> 65歳以上を含む世帯の割合は、区平均(29%)より少ない。 若い世代のみの世帯が多い。→高齢者はまとめて住んでいる世帯が多い。 	<p>⑪人口属性-昼間人口指数(町丁目別)</p>  <ul style="list-style-type: none"> 町丁目ごとの昼間人口指数(夜間人口を100とした場合の昼間人口)は、東坂下二丁目が多(工場、会社が多い)。